

先行導入した金沢局の活用事例

GSS 端末使用の意見聴取、 実質経営者への質問検査

本特集では昨年からGSSを先行導入していた金沢国税局における調査事例等を確認する。GSSパソコン（端末）を使用した税務調査では、Teamsによるバックオフィス支援（情報検索、集計作業、質問応答記録書の補正等）が行われる。同局管内のエリア一体運営に係る調査事案では、バックオフィス支援が臨場回数の削減（調査日数の短縮）につながったようだ。また、税理士に対する書面添付に係る意見聴取や遠隔地在住の実質経営者への質問検査でTeamsを活用した際は、資料を見ながら効果的な意見聴取が可能となり、多忙な実質経営者とのスケジュール調整も容易になったとしている。

なお、GSS環境下の調査においては、AI支援ツールCopilotを使用した準備調査、ToDoアプリによる長期仕掛事案（2か月超の事案）の進行管理なども行われているようだ。



証拠書類や質問応答記録書の記載内容を共有

GSSパソコン（端末）を使用した税務調査では、Teams、ToDo、SharePointやAIアプリCopilotなどのツールが利用される。

調査におけるTeamsの活用例の1つが、統括官等によるバックオフィス支援だ。バックオフィス支援では、情報検索、集計作業（証拠書類をスタンドスキャナでデータ化し、バ

ックオフィスに共有。即時に分析）、質問応答記録書の補正（統括官等と記載内容の共有や共同編集を実施。追加録取が不要となる）等が行われる。金沢局管内のエリア一体運営に係る調査事案ではバックオフィス支援により調査日数が短縮されている（図表1参照）。

ただし、バックオフィス支援には、①統括

【図表1】 バックオフィスによる支援や現場への指示により、臨場回数が削減

